



# **CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY REPORT 2020**

## CSR レポート 2020 の発刊にあたって

大東化成グループは CSR 活動を企業活動の根幹をなすものと考え 10 年前から行動規範を定め、国連のグローバルコンパクトや ISO26000 を尊重し CSR 活動を進めて来ましたが、その活動内容については、2015 年から CSR レポートとしてホームページ上に公開しています。それは私たちが、「企業の存在価値は、ステークホルダーからの期待に応え、豊かな社会に貢献する CSR 活動にある」と考えているからです。

当社の CSR 活動は、当初は社会の要請により、企業の倫理的な法令遵守から始まりましたが、現在は社会的価値と経済的価値が両立する持続可能な社会の実現を目指すものになり、SDGs によってそのための取り組むべき当社の課題が明確になりました。

私たちは、SDGs 視点での活動をもって CSR 活動を推進する事とし、今回の CSR レポートにおいては、SDGs の 17 の課題の内、私たちが重点をおいている「3. すべての人に健康と福祉」「4. 質の高い教育をみんなに」「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」「12. つくる責任つかう責任」「13. 気候変動に具体的な対策」「17. パートナリーシップで目標を達成しよう」に基づいてレポートを作成しました。

ステークホルダーもまた持続可能な社会の実現の為の活動を行う事を企業に期待しており、企業として SDGs を尊重して CSR 活動を行うことは、ステークホルダーの期待に応え、企業の存在価値を高め、倫理的な成長にもつながると信じます。

社内的には CSR 推進事務局を明確に定め、事務局は全社員の意識を同じくするため、CSR 活動や SDGs について周知を行っています。SDGs は社員一人一人が「我がこと」と考え行動できるテーマであり、自らの行動が SDGs に関連していることを知ることができます。それは、一人一人が社会の一員として将来に貢献している事を感じることができる尊い取り組みであると思います。

私たちは SDGs への取り組みを大々的に行うことはできないかもしれませんが、その意義を尊重し企業運営の基本として継続的に取り組んでいきます。また、取り組みの内容については、定期的に CSR レポートとして透明性をもって皆様に開示していきます。

2021 年 6 月 28 日  
大東化成工業株式会社  
CSR 事務局

## 目次

---

---

1. 大東化成グループ概要	
1.1 事業内容	p.5
1.2 組織	p.5-6
2. CSR コミットメント	
2.1 CSR の基準書	p.7
2.2 SDGs 視点での企業活動の推進	p.7
3. 適切な事業の遂行	
3.1 意思決定	p.7
3.2 会計処理	p.7
3.3 公正な取引	p.8
3.4 知的財産	p.8
3.5 腐敗防止	p.8
3.6 反社会的勢力の排除	p.8
3.7 事業継続体制	p.8
4. 笑顔あふれる職場を目指して	
4.1 差別のない待遇	p.8
4.2 労働法令の遵守と職場環境の改善	p.8
社員の人権を守る	p.8
腐敗を防止する	p.9
未来を創造する若者を育てる	p.9
女性が働きやすい職場	p.9
社員の健康への配慮	p.9
障害者雇用	p.9
4.3 社員の安全と衛生を守る	
勤務時間	p.9
化学物質管理	p.9
リスクマネジメント	p.9-10
労働災害	p.10
産業医による健康相談	p.10

---

## 5. 学びを通して成長する社員づくり

入社時研修	p.10
ISO9001 研修	p.10
EFfCI 研修	p.10-11
ハラスメント研修	p.11
語学教育	p.11
社外研修	p.11
資格取得者への報償	p.11
人事評価面談制度	p.11

## 6. 持続可能な社会を実現する為の製品開発と市場展開

### 6.1 プラスチック汚染の解消を目指して

CELLULOBEADS	p.11-12
--------------	---------

### 6.2 水の豊かさを守る

サクラン	p.12
------	------

### 6.3 持続可能な資源の調達を目指して

RSPO 認証	p.12-13
備長炭粉末	p.13
天然由来製品	p.13

## 7. 顧客満足

### 7.1 品質管理システム

顧客満足の維持向上のための品質管理システム	p.14
大手顧客による品質管理体制監査	p.14
世界のニーズにこたえるための品質管理システムと社員の意識向上	p.14

### 7.2 CSR 活動に対する評価

CSR 活動に対する第三者機関の評価の尊重	p.14-15
EcoVadis、CDP、Sedex による評価結果のまとめと対応	p.15
EcoVadis	p.15
CDP	p.15
Sedex	p.15
プラットフォームの評価を尊重した対応	p.15

8. 環境保全への取組みーより良い未来のために	
8.1 環境関連法令の遵守	p.15-16
8.2 環境に対する取組みの強化	p.16
8.3 温室効果ガス削減の為の個別の取組み	p.16
9. パートナーシップ	
9.1 ステークホルダーの期待に応える	p.16
9.2 私たちが所属している団体	p.16-17
9.3 地域との連携や雇用の創出	p.17
スイゼンジノリの養殖	p.17
環境汚染を解消する製品の生産力を増加する他社との協力体制	p.17
セルロビーズ委託生産	
地方自治体、森林組合、近隣住民との連携で行う環境保全	p.17-18
「笑顔の森」森林保全活動	

## 1. 大東化成グループ概要

### 1.1 事業内容

大東化成工業は、1950年に大阪で設立された日本の民間企業です。  
私たちは、化粧品原料、樹脂、インキを製造・販売しています。

そのうち化成品部門（化粧品原料）の売上が、90%を占めています。  
化成品部門は、化粧品原料として表面処理粉体、感覚や視覚効果を提供する調整剤や乳化剤などの特殊原料を製造・販売しています。

私たちのお客様は、小規模メーカー様から世界的な多国籍企業まで多岐にわたります。



**4** つの製造拠点（日本）  
**1** つの製造拠点（フランス）



**2** つの販売子会社  
（中国 及び フランス）

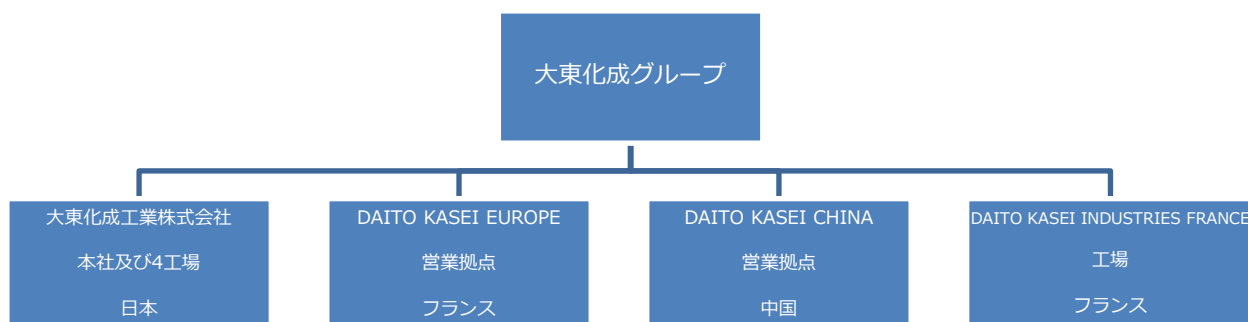
販売、流通、製造の各事業を通じて、私たちは世界 50 カ国以上で事業を展開しています。



**4** つの処方配合室



### 1.2 組織



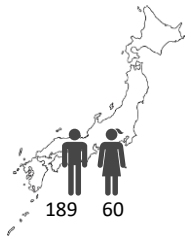
従業員・研究開発・生産量・サプライヤー数・地域別販売比率



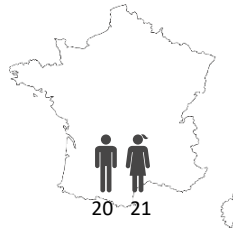
**295** 従業員数（正社員・非正規含む）

12月31日現在における大東化成社員の地域別・性別内訳

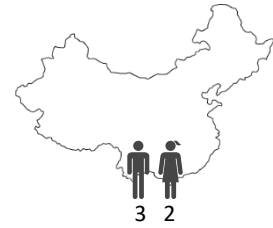
日本 84%



フランス 14%



中国 2%



**約 3 億円** 研究開発費用

研究開発は主に日本で行われます。また大学などの研究機関と協力して共同開発も行っています。

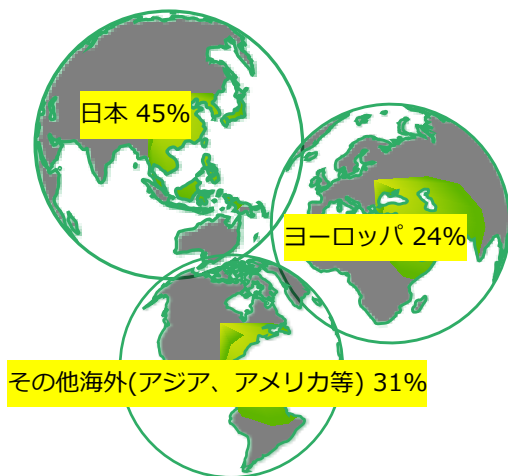


**約 1,950 トン** 超える生産量会社



**200 を超える** 世界におけるサプライヤー数

地域別販売比率



日本は大東化成グループの売上の約半数を占めており、地域別ではヨーロッパが2番目に売上の大きなエリアとなります。

## 2. CSR コミットメント

### 2.1 CSR の基準書

私たちは CSR に関し次の4つの基準書を作成し尊重しています。

Code of ethics (倫理)

Environmental policy (環境)

Risk management policy (リスク管理)

Responsible purchasing policy (調達)

これらの基準書は、国連のグローバルコンパクトの10原則及びISO2600に基づいて作成されており、大東化成グループ全体のCSR活動の規範となるものです。これらの基準書では、企業倫理、労働、人権、環境、持続可能な調達における私たちの基本的な行動指針を明らかにしています。尚、4基準書の詳細については、当社ホームページのサステナビリティ関連文書をご覧ください。

### 2.2 SDGs 視点での企業活動の推進

私たちは基準書で定める行動指針を尊重すると共に、世界共通の目標であるSDGs視点での企業活動を推進します。このことにより、社会的価値と経済的価値が両立する持続可能な社会の実現に貢献できるものと考えています。

すべての事業活動においては、会社法その他の事業活動に関する法令を遵守するとともに、社会的な倫理を尊重し、社会的な規範から逸脱することなく適切に事業を遂行します。

## 3. 適切な事業の遂行

大東化成グループ（日本、フランス、中国の4社）は適切な事業を遂行するため、以下を実施しています。

### 3.1 意思決定

会社の意思決定機関である取締役会については、経営計画、事業の策定、一定額以上の投資案件、重要な業務執行の決定、会社組織の見直しなどの意思決定を行います。

取締役会は、検討事項に迅速に対応するため、随時開催しタイムリーな意思決定を行っています。

### 3.2 会計処理

会計処理・経理処理が適正に行われているかについては、公認会計士による監査や税理士による確認指導を受け、第三者による評価を受けています。税務署からは優良申告法人として表敬を受けています。



### 3.3 公正な取引

事業に関する取引については、相手先との公正な取引を行います。

### 3.4 知的財産

自社及び取引先の知的財産を尊重します。

### 3.5 腐敗防止

贈収賄、過度な接待や利益相反に該当する行為を行いません。

### 3.6 反社会的勢力の排除

反社会的勢力との関りをもちません。

### 3.7 事業継続体制

自然災害、感染症などの緊急事態に備え、事業継続体制を整えます。

## 4. 笑顔あふれる職場を目指して



私たちにとって、社員の人権を守ること、働きやすい環境を整えることは非常に大切なことです。私たちは社員の働きやすさの向上のため、様々な取り組みを行っています。

### 4.1 差別のない待遇

企業活動の担い手である社員の人権を守るとは、公正な企業運営を行うために欠くことのできないものです。年齢、性別、障害、人種等に関係なく、全ての社員が公正で平等な待遇、地位、職場環境を得てこそ、能力を発揮することができます。私たちは性別、人種、障害の有無によらない給与体系を維持しています。

### 4.2 労働法令の遵守と職場環境の改善



#### 社員の人権を守る

全ての労働関連法令を遵守する為社会保険労務士との定期的な情報交換を行っており、必要に応じ労働条件や社内規定に反映しています。また弁護士の助言を得る体制もあります。

ハラスメント・社内苦情に関する相談窓口の設置しており、2020年は全社員に対しハラスメント研修を行いました。

### **腐敗を防止する**

仕入れ先様に対しては、当社の社員のハラスメント行為や贈収賄に関する苦情窓口を設置しています。利益相反、贈収賄に関する社内規定の整備と周知を行っており、全社員から誓約書への同意を得ています。

### **未来を創造する若者を育てる**

ユースエールは、若者の採用と育成に積極的で雇用管理の状況が優良な社員 300 人未満の中小企業を国が認定する制度で、当社は 2018 年に認定を受け、現在もその認定基準を維持しています。大阪府下で認証を受けている中小企業は、2020 年末時点で 50 社未満となっております。

### **女性が働きやすい職場**

2020 年の育児休業の取得者は 5 人であり、全ての取得者が休暇後職場に復帰、ないしは復帰予定者です。

### **従業員の健康への配慮**

定期健康診断受診時は法定の検査項目以外の検査（乳がん、大腸がん等）も受診可能としています。また、産業医巡視の際は、社員の健康相談を可能としています。インフルエンザの予防接種については、社員については全額を会社が負担し、同居家族についても一定額の補助を行っています。

### **障害者雇用**

2020 年の障害者雇用数は 6 名であり、法定雇用率を満たしております。

## **4.3 社員の安全と衛生を守る**

安全で健康的な環境は、すべての社員にとって基本的な権利であり、安定した効率的な運用を確保するために不可欠です。

### **勤務時間**

大東化成グループは、労働時間に関する現地の規制を順守しており、製造部門は 7.5 時間の 2 回、または 3 回のシフトで稼働しています。

### **化学物質管理**

化学物質は工場では取り扱われますが、技術的な安全対策、適切な保護具の着用等により作業環境の安全を確保しています。また製造現場で使用する原材料の SDS は使用する場所ごとに備えており、社員はいつでも閲覧することができます。

### **リスクマネジメント**

新製品の製造や新設備の導入に関しては、リスクマネジメントを行い、社員または環境に危険を

及ぼす可能性があるかどうかを判断しています。

職場の化学物質、それらの保管場所、在庫量についてはリストを作成し、適切に管理しています。また化学物質または状況への暴露を可能な限り低レベルに制御しています。

### 労働災害

労働災害の発生状況は、以下のとおりです。

	2018年	2019年	2020年
職場での事故件数総数	0	1	0
そのうち傷病休暇を伴う事故件数	0	0	0

### 産業医による健康相談

日本では50人以上の事業所に対し、産業医の任命が義務づけられていますが、50人未満の事業所である福井工場及び東大阪工場においても、産業医による巡視を実施し、職場の安全衛生に取り組んでいます。また巡視実施日には、社員個人の健康相談も可能としており、産業医と面談することができます。

## 5. 学びを通して成長する社員づくり



社員が仕事を通じ成長していく環境を作ることは、社員が能力を高め、満足度を得ることにつながります。また企業の成長のためには、社員の成長が不可欠であることは疑問の余地のないことです。当社では、主に以下のような施策を実施しています。

### 入社時研修

新卒・中途入社者に対し、会社規定・ハラスメント・安全衛生・ビジネスマナー等の研修を行っており、入社後4週間の配属部門におけるフォローアップも実施しています。

### ISO9001 研修

ISO9001に関する研修（規定や手順書の理解）や改善に関する研修については、主にOJTによって行われています。研修は各部門の年間計画に沿って、実施されています。研修を継続実施することで従業員の理解が一層深まり、より信頼性の高い品質管理システムへの維持改善が可能となっています。

### EFfCI 研修

2020年9月には、外部講師による2日間の研修を実施し、研修には社員92名が参加しました。

2022年には、EFfCIの認証を目指しており、研修に参加した社員が中心となって、社員自らが率

先して参画する活動であることを自覚し、目標と役割を共有した全社的な活動として取り組んでいます。

### ハラスメント研修

「風通しがよく、誰もが自由に意見交換する事ができ、気持ちよく仕事をできる」—そんな理想的な職場を実現することは、企業にとって欠かすことのできない使命と考えています。日本ではハラスメント防止法が2020年に施行され、大企業を対象に適用されました。

中小企業への適用は2022年からですが、当社ではそれに先立って体制を整え、自主的に適用すると共に、全社員に対する研修を実施しました。

### 語学教育

業務上必要とされる社員に対し、英会話及びフランス語会話研修（週1回）を行っています。

### 社外研修

所属団体が実施する化粧品技術基礎講習会などへの参加や、各部門において必要とされるスキルに関する外部研修には、部門長の判断により適宜参加しています。

### 資格取得者への報償

危険物資格、衛生管理資格、情報処理資格取得者に対する報償の実施を行い、従業員のモチベーションを高めています。

### 人事評価面談制度

一般社員を対象とし、上司又はリーダーとの面談を6か月毎に実施し、コミュニケーションを図りながら社員の育成を実施しています。

その他セミナー・展示会など、社員のスキルアップに必要な教育・情報収集の場への参加を奨励しています。

## 6. 持続可能な社会を実現する為の製品開発と市場展開



### 6.1 プラスチック汚染の解消を目指して

#### CELLULOBEADS（セルロビーズ）

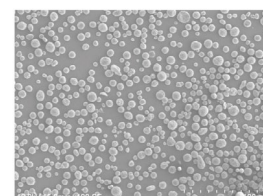
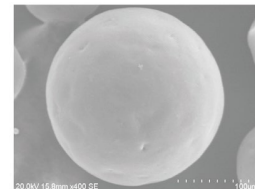
20世紀初頭から石油化学の発展と共に、数多くの合成高分子（プラスチック）が生み出され人々の生活を支えて来ました。その生産量は世界全体で現在3億トンを超えています。しかしながら、このプラスチックによるゴミは、世界中の海に広がり、環境汚染や生態系への悪影響を引き起こしています。特に国連環境計画（UNED）がマイクロプラスチックとして定義した直径5ミリ以下の

ものは、世界中で5兆個以上あると言われています。魚や鳥が間違えて飲み込む事例が多数報告されており、生態系への影響が確認されています。また、マイクロプラスチックは殺虫剤や難燃剤などの有害物質を高濃度に吸着する性質があり、食物連鎖により人にも影響を与えます。その対策として、各国において使用制限や、代替えとなる海洋分解性を有するものの開発が行われています。

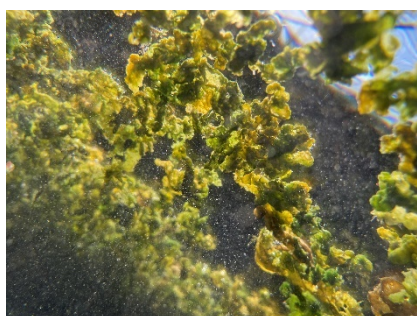
ここで紹介する“CELLULOBEADS”は、海洋分解性のあるセルロースを用いた球状粒子であり、元原料にFSC認証<sup>\*1</sup>を受けた木材を使用している自然由来の製品となります。

“CELLULOBEADS”については、既に海洋分解性を持つマイクロプラスチックの代替品として市場展開を行っていますが、今後はさらなる設備投資を行い、生産量を増強していく予定です。

<sup>\*1</sup>FSC認証：環境、社会、経済の便益に適い、管理された森林からの製品を消費者に届け、経済的利益を生産者に還元する仕組みです。認定された独立した第三者認証機関による審査の後、規格を満たしたと判断された場合に発行されます。



## 6.2 水の豊かさを守る



### サクラン

サクランは、阿蘇山麓に限られた清らかな湧水でしか生育できない「スイゼンジノリ」にのみ存在する天然多糖類です。驚くほどの保水力をもつその成分は、肌にうるおいを与えるだけでなく、肌を保護する被膜を作る特殊なものです。

しかしながら、スイゼンジノリは絶滅危惧種にしてされており、その生育の為に清らかな水が欠かせない植物です。

私たちは、「スイゼンジノリ」の生育ができる環境を増やす努力も地元の方々と一緒に行っています。



## 6.3 持続可能な資源の調達を目指して

### RSPO 認証

アフリカ産のアブラヤシから得られるパーム油は、加工食品、医薬品、化粧品、洗剤などの消費財からバイオ燃料などへ幅広く利用されており、世界では約7千万トンが生産されています。これは

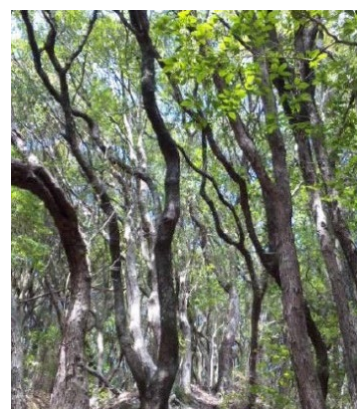
20年前の約2倍の生産量です。この為アブラヤシ農園は急速に拡大しましたが、不適切な農園管理などで環境に深刻な影響を与えています。森林破壊、保護価値の高い自然林や泥炭湿地の消失、生物多様性の損失、児童労働などの問題が発生しています。

当社の使用する原料にもパーム油を元原料とするものがあります。私たちは環境維持活動及び人権擁護を支持しており、2019年3月にはRSPO 認証<sup>\*2</sup> (Mass Balance)を取得しました。適正な原料を使用した製品を化粧品メーカー様へ供給してまいります。

<sup>\*2</sup>RSPO 認証：持続可能なパーム油のための「原則と基準」に元づいた認証制度で、当社はサプライチェーン認証を取得しています。

### 備長炭粉末

山の木々は人が手を入れないとなかなか育ちません。木が成長していく過程で人が手を入れることにより、山を生かし、緑を生かすことができます。紀南地方に群生するウバメガシをはじめとする広葉樹林は地域の治山、治水、自然保護に大きく貢献しています。



樹木をそのまま燃やして燃料にするのではなく、一度蒸し焼きにして木炭を作ることによって煙や炎を出さず火力が持続し、しかも保存のきく燃料は世界各地で開発されました。この技術は当時の人類にとって一大燃料革命でした。日本への炭焼き技術は、空海が9世始めに中国（唐）から最新の技術を持ち帰り、日本各地に広がったといわれています。



その後、紀州では長年にわたって、広葉樹林の保護育成を行いながら、炭焼き技術の開発が重ねられ、世界で類のない硬質炭である「備長炭」の製造技術を完成し、現在に至っています。備長炭の硬度は驚くほどで、アルミニウムやステンレスよりも硬く、ダイヤモンドに迫る硬さを持っていることが知られています。

備長炭粉末は紀州備長炭を原料とし、カーボンブラックなどの石油製品ではなく自然由来の粉末であり、私達は備長炭粉末を原料とする製品を開発し、市場に展開しています。

### 天然由来製品

既述のように私たちは天然由来原料の使用及び製品の開発を継続して行っており、持続可能な社会の実現のために企業が果たすべき役割であると考え継続して取り組んでいます。詳細は、当社ホームページの製品情報 (<https://www.daitokasei.com/product/chemical.php>) をご覧ください。

また顧客の要望がある場合は COSMOS 認証も取得しており、60 以上の製品が認証を受けています。

## 7.1 品質管理システム

### 顧客満足の維持向上のための品質管理システム

適正な品質管理は、業務の透明性や円滑な運営を可能にし、廃棄物の発生量減少、エネルギー消費量減少、労働時間の削減等の資源の有効な利用や労働環境に影響を与えます。品質管理は、CSR 活動を行っていく上での基本となるものと認識しています。また、お客様をはじめとしたすべてのステークホルダーの利益につながると考えています。

### 大手顧客による品質管理体制監査

当社は大手顧客による品質管理体制の監査を受けましたが、マイナーな指摘事項を除き、概ね満足との評価を受けました。指摘事項については、速やかに改善し、実施報告を行っています。

### 世界のニーズにこたえるための品質管理システムと社員の意識向上

大東化成工業株式会社では、従来より ISO9001 を取得していた事業所に加え全事業所を対象として、2019 年 2 月に ISO9001:2015 認証を取得しました。

また本年度より EFCI（欧州化粧品原料製造に係る GMP）の取得に向け、準備をスタートしました。



2020 年 9 月には、役員社員合計 93 名に対し、2 日間の社外講師による研修を実施しました。

今後はこの国際規格に基づいて、システムの改善を進め、信頼性と顧客満足度を高めるために定期的なレビューを行い、行動計画を立案してまいります。

## 7.2 CSR 活動に対する評価

私たちの CSR 活動に対するお客様の評価は、今後の事業の発展やお客様との継続的な信頼関係を可能にするために不可欠であると考えています。

### CSR 活動に対する第三者機関の評価の尊重

私たちは、国際的な CSR 活動の評価のためのプラットフォームである EcoVadis 及び Sedex の会員となっており、CDP へも参画しております。お客様は、この評価結果にアクセスいただくことにより、評価結果を共有することが可能となります。また大手のお客様による事業所単位での CSR 実

地監査を受けており、個々のお客様からの CSR アンケート調査にも協力しています。  
私たちはその評価結果を尊重し、より良い CSR 体制のための改善活動に反映しています。

## EcoVadis、CDP、Sedex による評価結果のまとめと対応

各プラットフォームの評価項目と当社の最新の評価結果は、以下のとおりです。

### EcoVadis

包括的な企業の社会的責任評価サービスで、環境、労働慣行と人権、倫理、持続可能な資材調達の 4 分野について評価を行うプラットフォームです。当社は 2020 年の評価で対象会社中、上位 6 % のシルバーの評価を受けました。

### CDP

企業に対し気候変動への戦略や温室効果ガスの排出量の公表に対する評価を行うプラットフォームです。

当社は 2020 年気候変動と水セキュリティにおいてアジア地区の平均程度の評価を受けました。

### Sedex

サプライチェーンにおける労働実務に関するリスクを管理するための評価を行うプラットフォームです。当社は 2018 年の回答に対し大手お客様より高評価を得ました。

## プラットフォームの評価を尊重した対応

私たちは、評価結果を尊重し更なる改善を行うため ISO14001 認証取得等全社的な取組みを計画しています。

## 8. 環境保全への取組み—より良い未来のために



持続可能な社会への貢献は私たちの果たすべき使命であり、特に環境に関する取組みはその根幹となるものと考えています。環境関連法令遵守や全社的な環境マネジメントシステムの構築、温室効果ガス削減などの環境保全への取組みや持続可能な社会を実現する為の製品開発と市場展開を行っていきます。

### 8.1 環境関連法令の遵守

大東化成グループのすべての生産施設を設置している自治体と、各自治体の定める法令（条例）に基づいた環境・公害についての協定を結び、工場を稼働させております。各自治体からは定期的に監査を受け、これらの協定が順守されていることを確認しています。

それに加え日本では 2019 年に消防法、大気汚染防止法、PRTR 法、廃棄物処理法、省エネ法などの環境関連法令に対する全社的な順守状況の調査を行いました。その結果、大きな問題は発見されませんでした。記録の保管等、改善すべき点が発見され、直ちに是正を行



いました。今後も定期的に順守状況の調査を行い、さらなる改善への取り組みを継続します。

## 8.2 環境に対する取り組みの強化

大東化成工業株式会社においては、ISO14001 の認証取得に取組み、2023 年年初までの認証取得を予定しています。

## 8.3 温室効果ガス削減の為の個別の取り組み

フランスの販売現地法人 DAITO KASEI EUROPE では、使用するすべての電力は再生可能エネルギーを使用しています。また製造拠点 DAITO KASEI INDUSTRIES FRANCE では、天然ガス使用に関してのカーボンオフセットを行っています。

大東化成工業株式会社では、全事業所において照明の LED 化を順次進めており、2021 年までに完了の予定です。

## 9. パートナーシップ



### 9.1 ステークホルダーの期待に応える

私たちの社会における存在意義は、大切なステークホルダーの期待に応え、豊かな社会に貢献していく経営を行っていく事にあります。私たちのステークホルダーは、お客様、サプライヤー、金融機関、社員、株主、自治体、地域社会、各種所属団体など企業活動に直接的な影響がある方々です。ステークホルダーは、現代の環境や文化を壊すことなく将来世代に引き継ぎ、地球、自然、社会、事業などの「持続性」を達成する経営を期待しています。

私たちはその期待に応えるため、法令を遵守し、国連のグローバルコンパクトの10原則、CSRのガイドライン規格であるISO26000及びSDGsの17の目標を尊重し、企業活動の中で様々なアクションを行っています。その継続的な積み重ねによって「持続可能性」に加え、様々なステークホルダーに配慮した経営を行い、SDGsが目指す「より幸せな社会」の実現に貢献できると考えています。

### 9.2 私たちが所属している団体

私たちは、下記の団体に所属しています。

団体の活動に参加することにより各種法令、規制、業界動向、他企業の情報など有意義な情報を共有することができ、企業活動のさまざまな情報を得ることができます。また、所属団体によっては、近年各企業のSDGsについての取り組みに対する支援を推進しております。

\* 大阪商工会議所

\* 社団法人大阪府工業協会

- \* 日本化粧品技術者会
- \* 西日本化粧品工業会
- \* EFCI – 欧州化粧品原料連合(DAITO KASEI EUROPE)
- \* コスメティックバレー(DAITO KASEI INDUSTRIES)
- \* 天満労働基準協会
- \* 一般財団法人 全国危険物安全協会
- \* 一般財団法人 全日本交通安全協会

### 9.3 地域との連携や雇用の創出

当社では、地域社会や他社と協力して環境保全や雇用の創出に貢献しています。

#### スイゼンジノリの養殖

私たちが市場展開しているサクランの原料—スイゼンジノリは福岡県、熊本県で養殖が行われておりますが、その生育には九州の阿蘇山の伏流水、つまり天然のミネラルを多く含んだ清麗 18~20度の水流が不可欠であることがわかっています。私たちはスイゼンジノリを使用し、サクランを産する為に、地元の方々と協力しスイゼンジノリの生育する環境を増やし、養殖事業の拡大に注力しています。このことは、環境保全にもつながり地域の雇用の創出にもつながります。

#### 環境汚染を解消する製品の生産力を増加する他社との協力体制

##### セルロビーズ委託生産

海洋分解性を有するセルロビーズはマイクロプラスチックの代替品として、欧州を中心に需要が高まって来ています。この環境問題を背景とした需要の増加に対応する為、レンゴー株式会社に委託生産をお願いすることになりました。今後はレンゴー株式会社様の協力をお借りしながら、環境保全に貢献すべくセルロビーズの普及に努めていきます。

#### 地方自治体、森林組合、近隣住民との連携で行う環境保全

##### 「笑顔の森」森林保全活動

2017年私たちは和歌山県の森林保全活動である「企業の森」活動に参画しました。

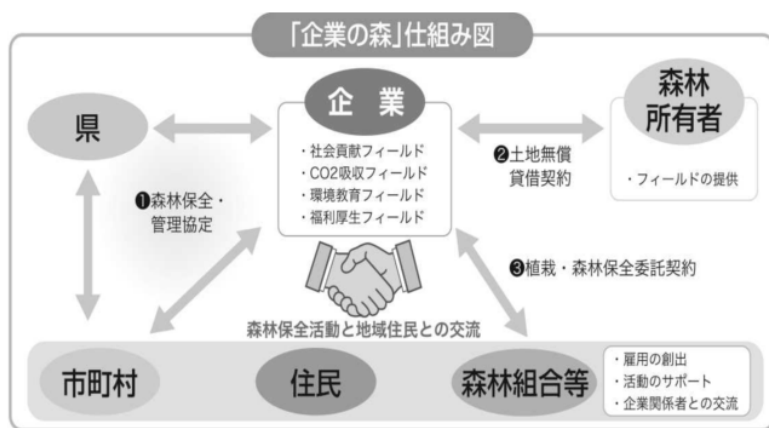
この活動は、「伝統的な知識保存の促進」「伝統的な知識保存の促進」「地域価値の創造」「森林の保全を通じて環境を守る」を目的としており、森林の保有者、和歌山県や市町村、森林組合と企業が一体となって、それぞれの役割を分担し豊かな自然を維持育成していく活動です。活動に共感し参画した企業・団体は現在80以上となり広大な森林の維持育成が行われています。



私たちは、田辺市に 2.53ha の森林を「笑顔の森」として活動を開始しました。2018 年 5 月には、日本の社員だけでなく、フランスや中国の拠点の従業員も参加し、県や市や森林組合や関係会社や住民の方々にも参加していただき植樹活動を行いました。皆さんとの交流は特に印象深く、美しい自然を満喫するとともに皆さんに対する感謝の気持ちで一杯になりました。

2020 年についてはコロナの影響もあり、社員による前年実施した「下草刈り」等の活動はできませんでした。しかしながら会社としては、今後も福利厚生の一環として、社員とその家族の参加のもと「下草刈り」等の活動を行う予定です。

また、この笑顔の森には 3,000 本のウバメガシをはじめとした合計 6,000 本の広葉樹が植林されており、その生育によって、将来的には年間 10,700kg の二酸化炭素を吸収する森となります。



出典：和歌山県 HP 企業の森

企業

大東化成工業株式会社  
「笑顔の森 -DAITO KASEI-」

2018年より開始した活動も2年目を迎えました。初年度には植林、1年目には下草刈りを関係者のご協力のもと、多数の従業員が行いました。  
現地では、自然豊かな場所で皆さんとの交流の機会を得ることができ、従業員にとっては貴重な体験となりました。  
今後も定期的に活動を行い、従業員の環境意識の向上をはかり、森林保全や地域の発展のために、微力ながら貢献してまいります。

出典：和歌山県企業の森情報誌「CSR WAKAYAMA」2020年